部局名	安全環境部	所属名	環境保全課	所属長名	鶴岡 菊男	電話	483-1151 内線：3210
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	------------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3677	事務事業名称	環境保全活動事業				短縮コード	経常	3677	臨時	3678	
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	公害対策費
区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他		根拠法令等		環境基本法							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
<p>○ほたるの里づくり事業→平成5年の環境基本法の制定に伴い、自然環境の保全等広範囲な環境問題に取り組む諸施策が打ち出された。また、市民からも自然保護や自然とのふれあいに対するニーズが高まっていた。</p> <p>○こども環境教室事業→今日の環境問題を解決するためには、次世代を担う子供たちが早くから環境へ関心を持つことが肝要である。このような目的を果たすための有効な施策として、こども環境教室が事業化された。</p> <p>○環境学習支援事業→市民・事業者からの講演依頼、地球的規模の環境問題の深刻化、環境問題への関心の高まり、「まちづくりふれあい講座」の開始、小中学校での「総合学習」における環境学習の実施。</p>												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	03	安全・環境共生都市をめざして					
○平成15年に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定され、地方公共団体も積極的に様々な施策を実施していかなければならない。ほたるの里事業、こども環境教室及び環境学習支援事業のいずれもこの法律の趣旨に沿うものあり、今後重要度は更に増すものと考えられる。					大項目 (節)	03	環境・衛生					
					中項目	01	環境との共生					
					小項目 (施策)	02	自然環境・生態系の保全					
						03	環境保全活動の支援					
					細項目	01	自然環境の保全と管理					
				02		環境学習の推進と人材育成						
実施計画の計画事業	3301	谷津・里山保全事業										
	3302	省エネルギー・新エネルギー調査・研究事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間	平成11年4月 ~ 平成20年3月		計画事業費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	1 八千代市ほたるの里づくり事業→市民 2 こども環境教室事業→小学校5・6年生 3 環境学習支援事業→環境学習を希望する市民、事業者、学生、生徒、児童等							
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成17年度に実際に行ったこと: 1 ほたるの里の維持管理 ナイトウォッチング他 2 市内小学校5・6年生を対象とした環境教室の実施 1回 3 環境学習支援事業 環境講座→2回、学校環境学習支援→10回、ボランティア講師→4回、講師8名、利用者460人、昆虫展の学習会→2回、35人 ※平成18年度に計画していること: 平成17年度と同様							
意図 (何を狙っているのか)	1 八千代市ほたるの里づくり事業→環境意識を高揚し主体的活動を支援する。 2 こども環境教室事業→子供たちが自然とふれあう機会をつくる 3 環境学習支援事業→市民・事業者等が環境問題に対する理解を深める。							
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	1 ほたるの里づくり事業→ほたるの里 (ホタルの生育地) をホタルメイトによって維持・管理される。 2 こども環境教室事業→子供たちが、環境問題について考えるきっかけとなる。 3 環境学習支援事業→様々な環境問題との関わりについて、理解と認識を深めるとともに、地域への関心を高める機会を創出できる。							
区分	指標	市民	人	16年度		17年度		18年度
				実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	市民	人	183,057	185,555	184,979	185,327	
	指標2	市内小学5・6年生の児童数	人	3,348	3,400	3,521	3,500	
	指標3	環境学習を希望する市民、事業者、生徒	人	452	450	780	800	
活動指標	指標1	ほたるの里の活動回数	回	10	13	9	11	
	指標2	参加者数	人	39	40	40	40	
	指標3	各種講座開催回数	回	15	18	16	16	
成果指標	指標1	ホタルメイトの人数	人	209	200	177	200	
	指標2	こども環境教室への参加者数	人	39	40	40	40	
	指標3	環境学習への参加人数	人	450	450	750	800	
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3677	事務事業名称	環境保全活動事業		所属名	環境保全課	
	単位	16年度		17年度		18年度	
		実績		計画		実績	
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	1,685	639	564	1,476
	その他	千円					
主な事業費の内訳		・八千代市ほたるの里づくり事業 1,080千円 ・こども環境教室事業 356千円 ・環境と健康にやさしいおすすめクッキング 83千円		・八千代市ほたるの里づくり事業 639千円		・八千代市ほたるの里づくり事業 558千円 ・八千代市ほたるの里づくり事業 903千円 ・夏休み親子環境教室 390千円	
人件費(B)		千円	8,893.4	8,854.9	11,930.1	8,854.9	
トータルコスト(A)+(B)		千円	10,578.4	9,493.9	12,494.1	10,330.9	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☒ 結び付いている	行政が積極的に環境保全活動に係る様々な施策を実施し、また、市民や団体による環境保全活動を支援している。			
		☐ 結び付くが見直しの余地がある				
		☐ 結びつきが弱い・ない				
		☐ 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している	目的を達成するため、今後も継続して実施していく。				
	☒ 達成していない					
	☐ 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	☐ 可能性はある	○ほたるの里づくり事業→当該事業は、ほたるの成育地であるとともに、ほたるの育成をとおして自然や動植物の保全の必要性等を学ぶ場でもあることから、民営化には馴染まない。 ○「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されたことにより、地方公共団体も各種の施策を実施することとなる。ほたるの里づくり事業、こども環境教室事業及び環境学習支援事業のいずれも、当該法律に基づく施策をして位置付けられることと考えられる。				
	☒ 可能性はない					
	☐ 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☒ 現状のままでよい	こども環境教室事業は既に外部委託済みであり、ほたるの里づくり事業は市民との協働により、管理・運営を行っている。				
	☐ 見直す必要がある					
	☐ 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性はある	可能性がない事業 ○こども環境教室事業は既に外部委託済。 ○ほたるの里づくり事業はすでに市民との協働により、管理・運営をしている。			
		☐ 効率性向上の可能性はある				
		☒ 両方可能性はある				
		☐ 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等	○環境学習支援事業 ・学習会と同時に行っていた昆虫展の回数を増やすことにより、市民に対する環境啓発の促進が図れる。また、展示会場の設営の手伝いや開催中の見張りを臨時職員で対応することで同事業に係る職員の時間外勤務の減少が見込める。臨時職員勤務時間 10日間(60時間) ・ボランティアで環境学習の講師を行う市民・団体を確保することにより、経費を上げずに環境学習を広めることができる。 ・里山や谷津をテーマとした作品展や里山シンポジウムを開催し、里山・谷津の保全意識を高めることができる。			
		☐ 臨時的任用職員等の活用				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	☐ IT化等業務プロセスの見直し	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)	
	☐ 受益者負担の見直し		2		実施主体(所管部署)	
	☐ 類似事業との統合・役割見直し					
	☒ 上記以外の方法					
	☒ ある	ボランティア講師への負担が大きい。				
	☐ ない					

コード	3677	事務事業名称	環境保全活動事業			所属名	環境保全課																					
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		☒ 改革・改善して継続 ☒ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他		・ボランティアで環境学習の講師を行う市民・団体を確保することにより、経費を上げずに環境学習の啓発に努めたい。 ・里山や谷津をテーマとした作品展や里山シンポジウムを開催し里山・谷津の保全意識の向上に努めたい。																							
			☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続																									
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td>☐</td> <td>☒</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	☐	☒	☐	不 変	☐	☐	☐	低 下	☐	☐	☐	ボランティア講師の充実のため、講師への交通費程度の謝金等を今後検討していきたい。		
		経 費																										
		削 減	不 変	増 加																								
成 果	向 上	☐	☒	☐																								
	不 変	☐	☐	☐																								
	低 下	☐	☐	☐																								

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>○ほたるの里づくり事業→市民の身近な自然環境に関する関心が高まっている反面、希少な動植物が盗まれてしまうこともある。自然を観察するうえでのルールの啓発も必要である。八千代市でも第2、第3のほたるの里をつくって欲しいという要望がある。</p> <p>○こども環境教室事業→学校での学習とは違った体験ができたこと、参加者からは好評を得ている。</p> <p>○環境学習支援事業→様々な市民団体、事業所、小中学校児童生徒、学校から学習会の依頼や問い合わせが多種多様にある。</p>	

所属長コメント	今世紀に入り、地球温暖化に伴う自然環境の破壊等が顕在化し、世界各国で解決していかなければならない問題であるということを認識しなければならない。そこで行政は、市民と企業と協働できるところから自然環境保護への取り組みを実施していかなければならない。特に次代を担う子ども達がホタルや自然の仕組みを理解していくことが大切である。小さな事業であるが、将来への展望は大きい。		
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続 ☒ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続		
	・積極的に推進すべき事業。 ・臨時的任用職員の活用や、実施可能であるものは推進すべき。		